

学園だより 10

～山口小学校・山口幼稚園～



校門にそびえる楠

楠くすのきが見守る学校

「明治三十二年創立」と刻まれた銘板が校門にはめ込まれています。

その横には、「楠」があります。雨の日も風の日も校門をくぐってくる児童の姿や勉強、運動で一喜一憂する児童の表情を百年以上も見守り続けてくれています。

学校教育目標は、

「笑顔いっぱい 学ぶことが楽しい学校」
「豊かな心と健やかな体を持つ

自ら学ぶたくましい児童の育成です。創造性のある人材育成をめざし、よりよく生きるための教育（規範意識や自立心）の徹底と基礎学力、基礎体力の向上をめざしています。また、あいさつ、「ありがとう」や「ごめんなさい」の言葉、早寝早起き、朝ごはん等の基本的生活習慣の定着を家庭と連携して進めています。

オンラインワンスクール事業

「飛び出せ山口っ子 元気づくりにチャレンジ」をテーマに、学習や心の教育など学校生活を支える健康な身体と基礎体力の向上をめざしています。

「よく遊び、よく学べ」を合言葉に、休み時間になると全校生が一斉に運動場に飛び出し、元気づけの明るい子どもたちの歓声が響き渡ります。

ドッチボール、サッカー、一輪車、おにごっこ、また遊具などを使って学年の枠を越えて運動の輪が広がり、敏捷性、バランス感覚、身のこなし方、瞬発力など基礎的な体力向上をめざしています。一輪車乗りについては、体育館に集まったみんなの前でいろいろな技を披露してくれるほどうまくなりました。

図書館や美術館との連携

図書館や美術館等の施設との連携を通して子どもたちはいろいろな体験活動に取り組んでいます。

あさご芸術の森美術館との連携では、「私も淀井さんになろう！」をテーマに、二年生と三年生の児童が美術館

の職員や地域の芸術家からいろいろな指導をいただきました。

専門家の方々の指導は、なごやかな子どもたちとの会話の中での確かな助言と指示があり、子どもの個性を大事にした作品となるようアドバイスをしていただきました。子どもたちも楽しく作品づくりに挑戦することができました。

森の図書館との連携では、図書館司書による「読み聞かせ」や「ブックトーク（本の紹介）」、授業に直接関係のある本と資料の紹介をしていただいています。この活動が、子どもの学習活動や読書活動への支援となり「読書の好きな子どもづくり」につながっています。



あさご芸術の森美術館での作品づくり

はばたけ！ 子どもたち

春にはサクラランボが咲り、夏にはサワガニと戯れ、秋にはドングリ拾い。四季折々の自然の中で四歳児、五歳児四十六人が自分らしさを発揮しながら元気いっぱい園生活を送っています。

この頃では、乗り物ごっこや買い物ごっこ等の遊びに夢中になっていきます。うまく準備や役割を決めて楽し

い遊びが行なわれています。

朝のチャレンジタイムでは、縄跳びや竹馬などに目標を持って取り組んでいます。毎日の絵本タイムでは、楽しい絵本や紙芝居を読んで「こころの栄養」にしています。

また、夕涼み会、人形劇、触れあい運動会、サツマイモ掘りなど、家庭や地域の協力を得ながら、心豊かにたくましく生きる力を育んでいます。

これからも、異年齢のよさを生かし、人や物、自然との触れあいを通して、時にはがまんをしたり、葛藤したりして、善悪の判断や相手への思いやりの心や優しさを大切に育てていきます。



園庭で元気よく竹馬

メリーちゃんの幼稚園

この園には「メリーちゃん」という人形が大切に展示されています。それは、昭和の初め、日米友好のためアメリカから全国の幼稚園に贈られたもので現在は兵庫県内で八体しか残っていないの一体だそうです。子どもたちは朝や帰りの挨拶をするなど折りに触れ、声をかけ眺めています。

次回は、和田山中学校です